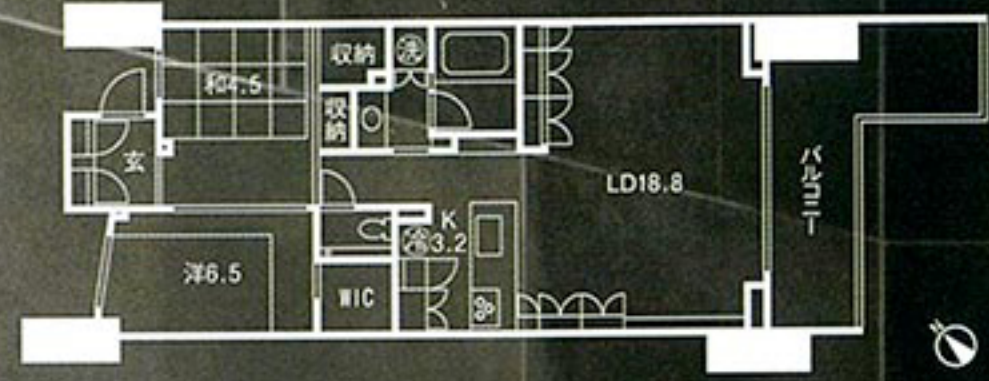


「目前に広がる緑は  
まるで自分の庭のようです」

新宿区 Aさん



左/リノベーションは友人の紹介で、ハイクラス住宅を得意とする会社に家具を含めてトータルコーディネート依頼。空間をより広く感じさせる左の鏡は、タッチパネル式でテレビにもなる右/玄関すぐの引き戸を開けると間接照明を埋め込んで一段上がった寝室に。廊下を挟んだ和室とも一続きになる



DATA

専有面積 / 約75㎡ 間取り / 2LDK  
リノベーション / アーネストグループ・クラフトスピリッツ  
引き戸を多用し、家族みんなの気配が分かるようにリノベーション。リビング扉をなくし、玄関を入れてすぐ左手に緑の借景が広がる

電線も車の往来も視線を遮らない眺望。栗の木を使ったフローリングや凹凸感のあるタイルで空間を格上げ



半永久的に守られた  
緑の借景が決め手に

都心は意外に緑が多い。代々木公園、新宿御苑、赤坂御所、有栖川宮記念公園……。これらの歴史ある緑は将来的に環境が守られ、ほぼ永久的に緑の眺望を提供してくれる都会のオアシスだ。しかし、そうした都心の緑を目前に眺められるマンションの数は少なく、当然希少性は高い。Aさんが購入した物件もそうした歴史ある緑が目の前にある、稀有な立地に立つレジデンスだ。

海外在住のAさんは、年に数回滞在する東京拠点のセカンドハウスとしてこの物件を購入した。「それまでは東京都内のさまざまなホテルに滞在していました。拠点としてマンション購入もいまいかなと考えました」。決め手は山手線内の便利な立地であること、子どもたちが遊べる場所が身近にあること。そして何より、目の前に広大な緑が臨めること。住戸の位置にもこだわり、リビングにいなから緑と空の両方を愉しめる階数を選んだという。夜になれば、静かな森の向こうに都心のビル群が放つ夜景の輝きが広がる。

普段は海外にすることが多いため、日本にいたることを実感できるよう、モダンな「和」を感じるテイストに室内を新築時にリノベーションした。緑の借景がなじむよう、自然素材をふんだんに使った空間は、温かみのなかにも特別感を感じさせる。

「実際に暮らしてみると、朝の日差しが気持ちよく、窓から見える緑がまるで自分の庭のようで癒やされます。海外にある自邸は、ビーチと都会の夜景の両方を愉しめるロケーションなので、それぞれ違う借景を堪能できます」